



伝統と革新が育む、 唯一無二の個性と未来。



東海中学校・高等学校校長
林道隆

ごあいさつ

本校は、1888年創立の伝統校として仏教精神に基づく中高一貫教育に情熱を傾け、多くの有為な士を輩出してまいりました。さまざまに変動する社会情勢の中にありますが、今後も不易と流行を正しく見極め、保護者の皆様のニーズにお応えしていく所存であります。お預かりする13歳から18歳という人生の最も多感な6年間を、一貫した教育理念のもと、一生のエネルギーの根源となるよう全力を傾けてまいります。多くの眞眼の士のご理解とご協力を切望いたします。

沿革



初代 武田芳淳 校長



旧本館[大正時代]



旧明照殿

- 1888年 浄土宗学愛知支校として西蓮寺（現名古屋市東区東桜2）内に創立
- 1899年 車道校舎（現校地）に移転
- 1901年 忠魂祠堂（明照殿の前身）を創建
- 1909年 東海中学校となる
(設立者 浄土宗管長 山下現有)
- 1911年 知多郡大野にて水練会はじまる
- 1913年 椎尾辨匡 第2代校長に就任
- 1916年 忠魂祠堂を明昭殿と改称
この頃 校訓「勤儉誠実」確立
- 1922年 校歌制定
- 1931年 大講堂完成
- 1947年 新制東海中学校発足
明昭殿を明照殿と改称
- 1948年 新制東海高等学校発足
- 1955年 水練会 伊勢二見に定着
- 1980年 新しい明照殿完成
- 1989年 百志館（図書会館）完成
- 2001年 高校新校舎完成
- 2006年 新体育館・プール等 体育施設完成
- 2007年 中学新校舎完成
- 2008年 創立120周年記念式典



本校の特色



心豊かな「自分」を育む場所。

自ら考え、行動する自由と
自立の精神を持った人へ。

教育目標

本学園は、法然上人の開かれた浄土宗によって設立されました。生命尊重の仏教精神を基調として、明るく、正しく、仲よく、あらゆるものを作りしていくことのできる人間に育っていくために、次の三綱領を教育目標として掲げています。

1. 明照殿を敬い、信念ある人となりましょう。
2. 勤儉誠実の校風を尊重して、よい個性を養いましょう。
3. 平和日本の有な社会人となりましょう。



椎尾辨匡先生書『勤後誠實』額

豊かな人間性を養う宗教情操教育

東海学園は法然上人の開かれた浄土宗によって設立され、120年以上にわたって生命尊重の仏教精神に基づく教育を行っています。命の尊さに目覚め、眞の平和を求める精神のもと、一度限りの「今」を大切にし、他の命によって支えられ、共に生かし生かされ合う「共生(きょうせい・ともいき)」の心を持った人間を育むための宗教情操教育を行っています。宗教儀式などは決して浄土宗の信者を養成するためのものではありません。例えば、宗教情操教育のひとつに「食作法(じきさほう)」があります。ここには、生かされている自分の命の尊さに目覚め、自分を生かしている無数の「いのち」に感謝する心が込められています。これらの教育はすべての人々にとって大切なと考え、仏教精神がもたらす豊かな人間育成を目指しています。

自分について深く考える宗教の授業

宗教の授業では主に「仏教読本」を教科書として用い、人生の智慧の宝庫である仏教の教えをひもときながら、人間としての生き方について考察します。また、様々なテーマのビデオを鑑賞し、自分の感想や意見をまとめてディスカッションなどを行います。そこで生徒たちは自分の意見を持つことの大切さを知り、自らの責任において自主的に行動する力を学びながら、中学・高校の6年間をかけてじっくり「自分らしさ」を育みます。これからの時代を支えていく生徒たちにとって、宗教の授業は「自分たちはどう生きるべきか」を考える貴重な時間だと考えています。



全校生徒・職員による知恩院での音楽法要



1911年(明治44年)から続く伝統の「水練会」

本校の特色	
カリキュラム	
総合学習	
スクールライフ	
年間行事	
クラブ活動	
施設	
VOC	
実績	

カリキュラム

個人の未来を見据えた 中高一貫教育。

「個」の力を高め、
実践力を育むカリキュラム。

中高一貫教育の利点を生かし独自のカリキュラムを編成。より高度になる高校の学習内容に時間をかけるため、主要科目では中学3年生から高校の内容に入ります。それに合わせてオリジナル教材を50種類以上用意し、理解度を高めることに使用しています。さらに、少人数クラス編成によってきめ細かな指導を実践。またネイティブ・スピーカーによる英会話の授業を中学1年～高校3年まで多く取り入れ、国際化社会を見据えた実践的指導を早くから展開しています。



カリキュラム	中学1年次	中学2年次	中学3年次	高校1年次	高校2年次	高校3年次
英語	読解力・表現力の養成 副教材による文法力の強化 外国人による英会話	読解力・表現力の養成 副教材による文法力の強化 外国人による英会話	高校英Iレベルの教材による読解力・表現力の養成 外国人による英会話	[英語コミュニケーションI]・[英語表現I] [外国人によるオーラルコミュニケーション]	[英語コミュニケーションII]・[英語表現II] [リーディング]・[総合]	[英語コミュニケーションIII]・[英語表現III] [リスニング]・[英作文]
数学	正の数と負の数 式の計算 方程式 不等式 1次関数 資料の整理と活用	式の計算 平方根 2次方程式 関数 $y=ax^2$ 標本調査	[数I]数と式 2次関数 図形と計量	[数II]式と証明、複素数と方程式、図形と方程式、三角関数・指數関数・対数関数 [数A]場合の数と確率 整数の性質 集合と命題(数I)	[数II]微分・積分 [数B]数列、ベクトル	大学入試問題演習
現代文	中I教科書 中2教科書水準の文書 口語文法、漢検4級問題集	中2教科書 中3教科書水準の文書 国語表現(作文演習) 漢検3級問題集	中3教科書 [国語総合]水準の文章 読解力養成問題集 漢検準2級問題集	[国語総合] 教科書に基づく学習 副教材による補填	[現代文][古典]教科書に基づく学習 副教材による補填	大学入試問題演習
国語	初歩的な古文の読解 古文の基礎知識	平易な古文の読解 古典文法(自立語全般の習得)	代表的な古文の読解 古典文法(付属語の基礎) 読解力養成問題集			
古文						
漢文			漢文の基礎知識 故事成語の読解			
物理		光と色の世界 音の世界 物体と力 電流回路 热と温度	電流と磁界 力と運動 エネルギーの変換と保存		物体の運動とエネルギー さまざまな物理現象とエネルギー 力と運動① 波	力と運動② 热 電気と磁気 原子
化学		元素と原子 化学結合 状態変化 水溶液 気体の性質	酸 塩基 中和と塩 酸化還元 電気分解 電池 物質の構成		物質の構成 化学反応 物質の状態と平衡 物質の変化と平衡	無機化合物 炭素化合物 高分子化合物
理科	動植物の分類とからだのつくり 細胞 [高校生物分野]を含む		からだのしくみとはたらき 生物界のつながり 遺伝 [高校生物分野]を含む		生物の特徴 体内環境の維持 遺伝子とそのはたらき 多様性と生態	生命現象と物質 生殖と発生 環境応答 進化と系統
生物						
地学	地球と宇宙、気候のしくみと天気の変化 大地の変化					全分野の学習
歴史	[中学歴史]原始～中世	[中学歴史]中世～近代	[中学歴史]近代～現代	[世界史]大航海時代から現代	[日本史]原始・古代、中世、近世	近代・現代 未履修範囲の学習 総復習
社会	[日本とその諸地域]日本の範囲・自然・地形図・諸地域・図法	[世界とその諸地域]世界の気候・諸地域			[地理]地図 交通 国家 環境問題 自然環境 農業 工業 人口 都市	世界の諸地域
地理						
公民			[中学公民]政治経済	[現代社会]社会生活と青年 経済社会と経済活動 民主政治と民主社会	[政治経済]国際社会と日本、経済と国民福祉 [倫理]古典の思想、現代の思想	

■ 中学校課程 ■ 高校課程 ■ 大学進学のための演習

英語科

「話す・聴く・読む・書く」に
重きを置いた
主体的な英語学習



数学科

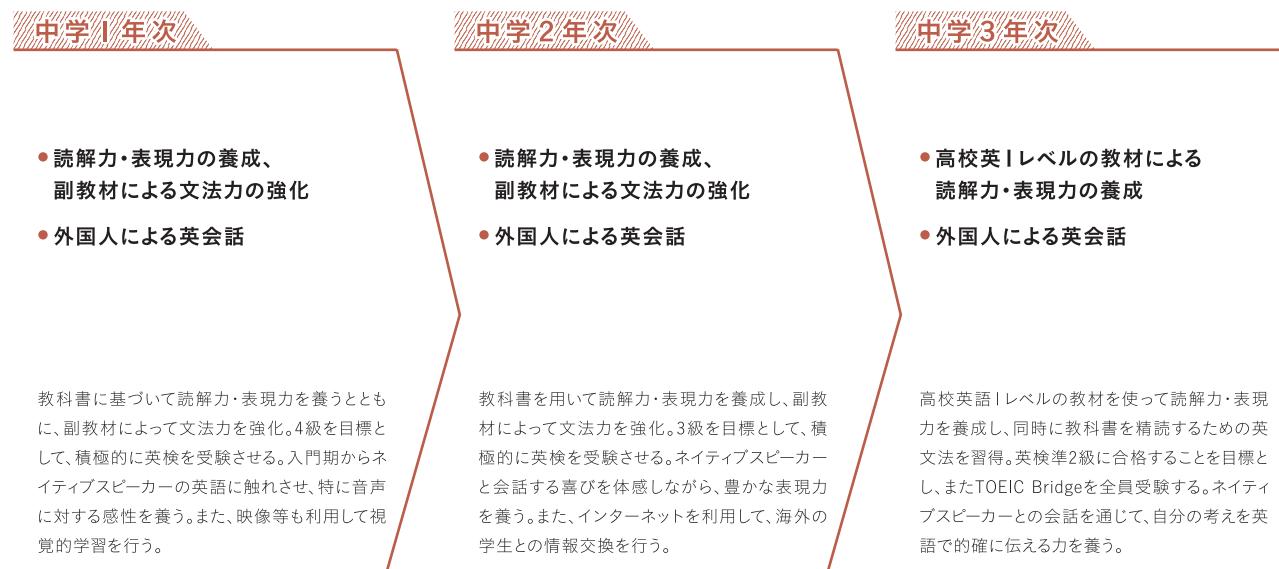
基礎をしっかりと
固めながら
確かな数学力を育む



学習のねらい

本校の英語科は、教科書の内容に沿ったオリジナル教材を活用しながら、読解・文法・語彙力をしっかりと養い、高校進学後の大学受験に対応できる基礎学力を習得することを目標としています。また、ネイティブスピーカーの講師と交わす「生きた英会話」や、インターネットを利用してリアルタイムで行う、海外の学生との「異文化コミュニケーション」など、教科書の内容理解だけにとどまらない、より実践的な学習方法を推進しています。

年間授業計画



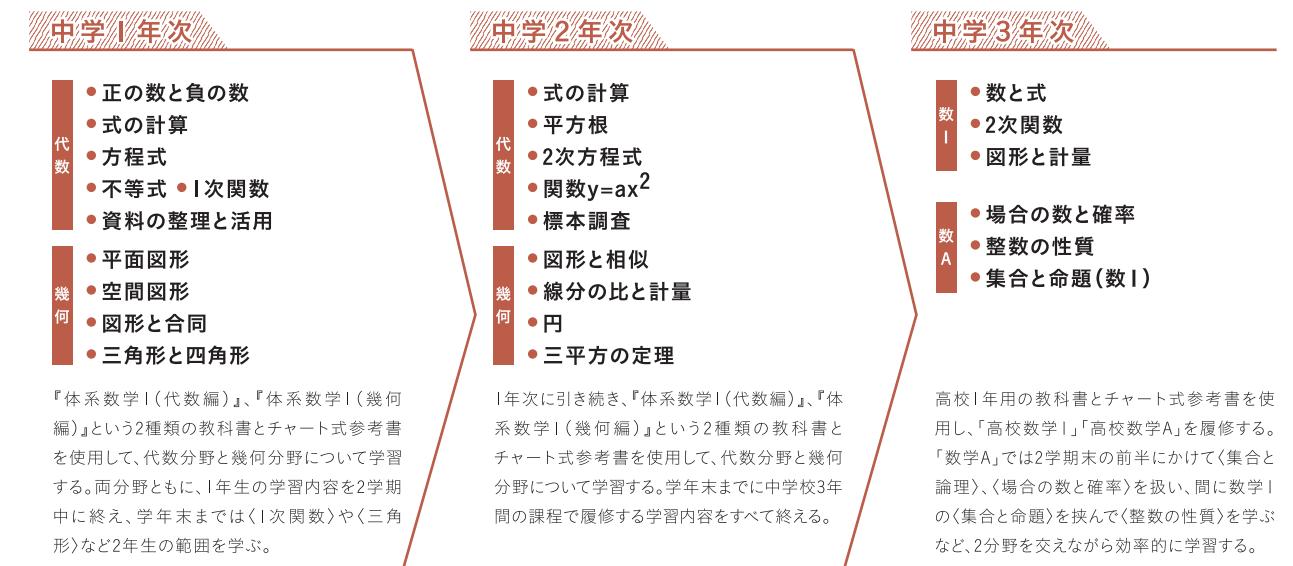
高校課程の授業計画

2年次までに中学校の内容を修了し、以降は入試用のテキストや自主教材を用いて受験に向けた学習に注力。3年後期には英検準1級に合格することを究極の目標とする。希望者に対しては、外国人教師による受験用の高度なリスニング力や英作文力の養成を行っている。

学習のねらい

カリキュラムは中高6年間を見通して作成しており、中学校2年次までに中学校の基本的な内容を終え、3年次では「数学I」「数学A」の内容をほぼすべて終了します。教材には中高一貫用のテキスト『体系数学I.2(ともに代数編と幾何編に分冊)』と、その学習配列に合わせて『チャート式参考書』を使用し、上級学年の内容を積極的に取り入れながら、系統的に学習を進めていきます。また、家庭学習の習慣をつけてもらいたいので、適度な量の宿題も出します。中学校の数学に求められるのは、基本的なことの確実な習得です。特別難しいことをするわけでもなく、問題を解くための特別なテクニックが必要でもなく、ひらめきが必要なわけでもありません。難しい問題にじっくりと向き合い、何度も繰り返すことで、基礎から一つひとつ積み重ねていきましょう。

年間授業計画



高校課程の授業計画

高校課程である「数II」「数B」「数III」の3分野を、1年次から2年次までの期間すべて履修する。3年次以降は、大学入試の傾向を分析し、前年度の問題を中心に入試問題集を使用して演習を行う。特に記述式問題を重点的に指導する。

国語科

すべての教科の基礎となる
国語力を高めていく



理科

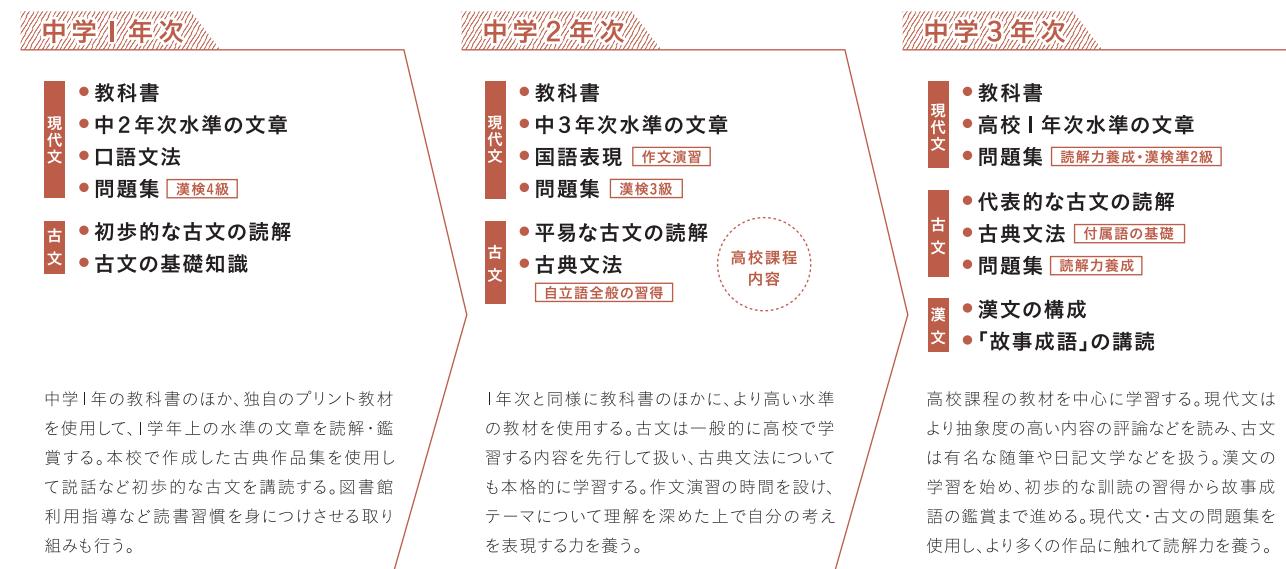
多様な学習項目を
関連付けながら
理科的な応用力を養成



学習のねらい

国語を正確に理解し適切に表現する能力は、意志伝達のみならず論理的思考や想像をする力を高め、他教科の習得にも必要であることは言うまでもなく、国際化・情報化が急速に進む現代社会においてますます重要になっています。そこで本校では一般的な学校より高度な教材を用いて発展的な学習を実践し、生徒の国語力向上に努めています。現代の言語文化の基盤を成す古文・漢文についても、より本格的に学習します。また、正しい国語力の基礎を培うために漢字検定の問題集を教材として使い、受検を推奨しています。表現活動については、作文・感想文だけでなく、短歌・俳句についても指導し、積極的に外部へ応募しています。さらに書道では、今日の情報末端への入力だけでなく、肉筆の文字を心を落ち着けて書くことで情操面の教育も目指しています。

年間授業計画



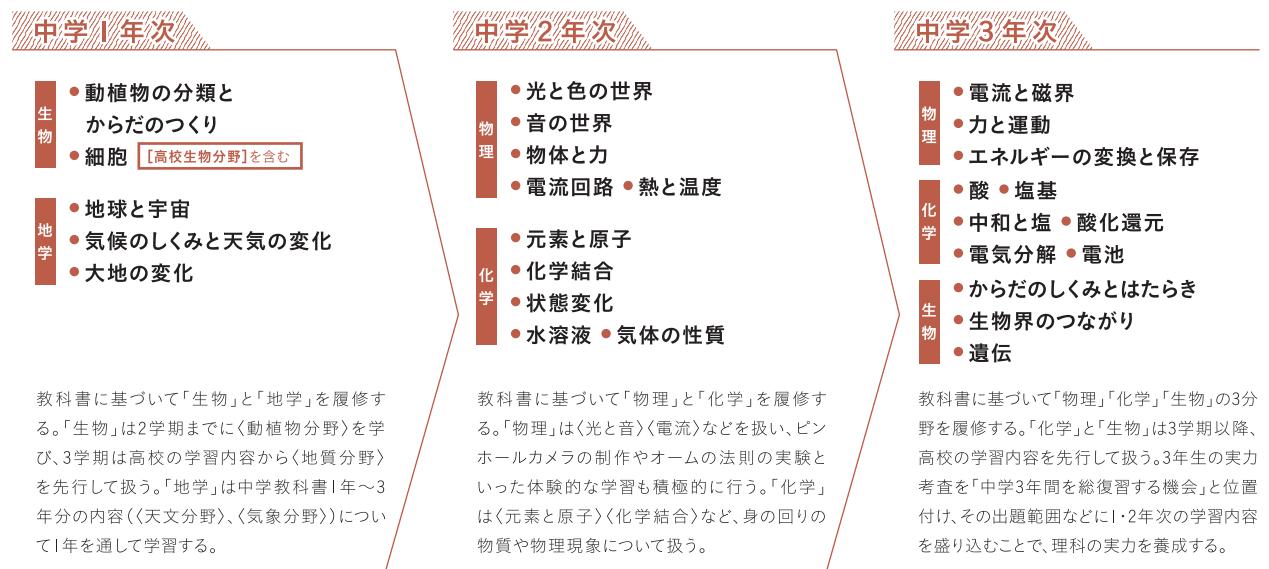
高校課程の授業計画

1年次の「国語総合」、2年次の「現代文」「古典」は、それぞれの科目的教科書を使用しつつ、必要に応じて他の科目の教科書や教材からも内容を補充する。また副教材として参考書・問題集を指定する。3年次は大学入試に対応した学力養成に焦点をしぼり、問題演習を中心とした授業を行う。

学習のねらい

本校の理科は、中高一貫教育の利点を最大限に活かし、1年次の「生物」や3年次の「化学」など、一部の授業で高校の学習内容を一部取り入れながら、中学校の内容を効果的に学習します。また、実験や観察も積極的に行い、その目的と方法を意識しながら自ら手を動かすことでの体験的・理解を深めます。理科の学習において大切なのは、「授業中によく考える」こと。疑問が生じたら「なぜだろう」と考え、問題に当たる際は教科書やテキストとの内容と関係しているかを確認しながら解くことがポイントです。そして、多くの学習項目の一つひとつをバラバラの知識として暗記しようとするのではなく、常に関連する他の事項と比較しながら学習することも必要です。これは知識のネットワークを定着させるうえで大いに役立ち、応用力を養うことにもつながっていきます。

年間授業計画



高校課程の授業計画

1年次に「生物」、2年次に「物理」と「化学」を履修する。2年次までに中学高校の内容の多くを修了し、3年次は教科書の残りの内容を学習するとともに、大学入試に向けた問題演習に取り組む。例えば「地学」では大気と天文の2分野に時間をかけるなど、受験に対応した授業を行う。

社会科

人間の歴史や社会の仕組みから
有用な知識を手に入れる



学習のねらい

社会科は暗記さえすればいい、と思っている人がたまにいますが、これは間違った考え方であり、勉強方法としても効率的ではありません。第一、多くのことを覚えこもうとしても、すぐに忘れてしまうし、「覚えなければいけない」という重圧となって精神的にマイナスです。本校の考える社会科とは、人間の社会の歴史や、各地の生活の様子、私たちの身の回りの社会がどうして発達してきたか、またどんな仕組みで動いているかをいろいろな事実をもとに考えて、そこから役立つことを身につけていく学科です。だからこそ、ある時代の様子やある地域の特徴、また社会の仕組みについて、それをそのまま覚え込ませるのではなく、いろいろな事柄と結び付けさせることで情報を整理し、本物の知識が身に付けるように導いています。

年間授業計画



高校課程の授業計画

1年次に「世界史」と「現代社会」、2年次に「日本史」と「地理」を履修。3年次は4分野を並行して学びながら、大学入試に向けた総整理や補講、論述を含めた演習を実施する。また、例えは「世界史」では戦中・戦後の今日に至るまでの世界を学び、現代人としての使命と展望を身につけるなど、知識の習得にとどまらない教育を目指す。



音楽科

知性と感性を、相互に高め合うように磨く

人は生まれながらに優れた知性と感性の素質を兼ね備えており、どちらか一方だけが磨かれては健全な発達は成り立ちません。学校はそれらをバランスよく育てる場です。その一端を担う音楽科では、歌唱・鑑賞・器楽などの幅広い音楽活動に触ることで音楽に対する興味を育み、一般教科の理解向上にも大きく関わる、優れた感性を養います。



美術科

美に対する感性を養い、人生の大きな糧に

芸術文化は生徒の感性を刺激し、情操豊かな人間形成の基礎を築きます。美術科においては、美に対する素直な心を育て、歓びや感動を心の奥で味わうことを経験します。また、創作にあたり、苦労の末に独自の発想が生まれてくる素晴らしさは、人生を豊潤なものにするだけでなく、今後社会の一翼を担う上で大きな肥やしとなることでしょう。



技術科

創意工夫の先に、生活の知恵を身につける

原始社会から現代社会までが脈々とつながっているのは、目的を達成するために道具の発明をしてきた歴史と言っても過言ではありません。しかしその一方で、身近な生活に密着した知恵の技術がおろそかにされ、釘一本打てない大人が増えています。そんな今だからこそ、木工作や電子工作の実践を通して、基本的に素朴な道具を作る喜びを体験してもらいます。



家庭科

生活全般を実践的に学び、より豊かな暮らしへ

本校の家庭科においては、人として、一人の生活者として自立した生活をするために、1年次では「衣食住」という生活に欠かせない知識や技術を身につけ、将来賢い生活者となることを目指した学習を行います。また、2年次では「家族」「消費」「環境」「保育」といったさまざまなテーマについて自ら考え、意見をまとめて発表することで、自分の生き方について学びます。



保健・体育科

スポーツを通して、健やかな心と身体を育む

保健体育の学習目標は、正しい運動の実習や体育に関する知識および健康生活に必要な知識の理解によって心身の健全な発育を促し、さらに健康な生活を営む能力を養うことです。学校はもちろん家庭においても健康増進を図り、楽しく明るい生活を過ごせるよう指導していきます。



宗教科

仏教精神に学び、人間としての生き方を考える

教科書は主に『仏教読本』を使用し、人生的智慧の宝庫である仏教の教えを紐解きながら、人間としての生き方について考えていきます。この先どんな困難が待ち受けているとも、それらを乗り越え、喜びと感動のうちに充実した人生を全うできる人間として成長していくことを願っています。そして宗教の授業は、その重要な一翼を担っていく使命があると考えています。



総合科

情報化・国際化する現代社会を生き抜くために

総合科には「情報」や「国際理解」など計5つのテーマが設定されており、3年間をかけて取り組んでいます。中でも1年次に履修する重要なテーマ「情報」で学ぶことは大きく2つ。1つ目は「情報力をつけること」、そして2つ目は「新しい社会のルールを学ぶ」ことです。情報化が急速に進む現代社会を安全に生き抜くための、基本的な能力と知識を身につけていきます。



これからの社会で必要となる、感受性と主体性を培う舞台。

実社会に適応していくための基盤を築き
未来を見据えて自己実現への道をさぐる。

生徒の自主運営を基本とした、地域参加型の公開講座。

サタデープログラムは、年2回学校を一般に開放して、多種多様な合計100以上の講座を開く、本校の一大イベントです。多くの企画・交渉を生徒実行委員会が担当しています。講座では、政治評論家、弁護士、マンガ家、女優など著名人を講師に招いた話題のセミナー、現職国会議員との公開討論会等を実施しています。そのほかにも企業家やアナウンサー、政治家といった本校の同窓生が講師を務める「ようこそ先輩」など、バラエティ豊かな講師陣による興味深い講義が行われ、毎年好評を博しています。今では来場者が年2回で1万人を超える人気イベントになっています。来場される地域の方々との交流、講師陣との触れ合い、そして自らが企画・交渉した達成感。そのどれもが、生徒にとって貴重な経験となり、自信となり、自らの幅を広げ、将来を考えるための機会になっています。



サタデープログラム

将来への視野を広げる総合学習

本校では、「今、そして将来にわたって必要なことを学ぶ」ことを目的とした総合学習を実施しています。情報化社会の中で、実社会との関わりを重視した指導を行います。中学校では、インターネットなどさまざまな「情報」の取り扱いを中心に学ぶ授業、生命の問題に向き合う「いのち」の授業、自分の将来像を描き出す「自己発見～卒業レポート」の授業などを行い、現代社会を生き抜くために必要な力を成長段階に合わせて育成します。高校では外国人講師の指導により、トピックを中心としたコミュニケーション重視の授業形式で進められます。国際理解の一助としてコンピューターを利用し、英語圏の文化や習慣に習熟することを目指しています。「サタデープログラム」に加え、高1の「研究&仕事紹介講座」という企画でも、実際に社会で活躍されるOBを中心としたさまざまな方をお招きするなど、将来社会に出たときに必要な知識や意識を、6年間にわたって本格的に学べる体制を整えています。



中3「自己発見」プレゼンテーション風景(講堂)



活気と笑顔あふれる 健やかな時間。

自由と規律のもと、親しき仲間たちと
ふれあい分かち合う充実のとき。



年間行事

多彩な行事で得る経験を、
豊かな人間性へつなげる。

本校では、学校行事においても、生徒の自主性を尊重して行われます。
一人ひとりが責任を持ち、自主運営に対して積極的に取り組みながら、
協調性や統率力の大切さを学んでいます。

海外研修



立山登山



九月祭



祖山参拝

**4**

APRIL

6

JUNE

7

JULY

8

AUGUST

9

SEPTEMBER

10

OCTOBER

11

NOVEMBER

1

JANUARY

4月

灌仏会(花まつり)

釈尊降誕(お釈迦さまご誕生)をお祝いする日。



球技大会

サッカーやバスケットボールなどの競技をクラス対抗で行います。



途中で負けてもクラスメイトの応援へ。ボールの行方に一喜一憂する1日です。

6月

修学旅行(3年生)

山口・広島・岡山と瀬戸内沿いを巡る3泊4日の山陽の旅。



世界遺産の宮島、荘厳な秋芳洞、歴史の息吹感じる萩の町並みなどを訪れます。

遠足(1・2年生)

デイキャンプやオリエンテーリングなど楽しいイベントに取り組む1日です。



遠足の行き先や内容はクラス討議で決定。下調べや準備もまた楽しいものです。

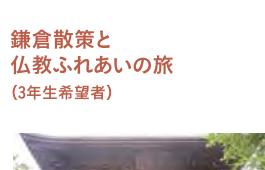
7月

水練会(1年生)

100年以上続く伝統行事。伊勢二見浦での4泊5日の水泳合宿です。



遠泳組は3km、距離泳組は1kmを泳ぎます。泳ぎ切った充実感は一生の宝物です。

鎌倉散策と
仏教ふれあいの旅
(3年生希望者)

江ノ島を遠くに臨む鎌倉・光明寺で過ごす3日間。散策では鎌倉の文化遺産を訪ね歩きます。

海外研修(3年生、高校1年生)

スコットランド、アイルランドへの海外研修。様々な国から集まった中高生と生活を共にします。

水泳大会(1年生)

クラス対抗の水泳大会です。級友の泳ぎに、大きな声援が響きます。

9月

立山登山(2年生希望者)

富山県の東部にそびえる北アルプス・立山連峰を縦走します。2泊3日の旅です。



九月祭&記念祭

学校を挙げて開催される本校最大のイベント。毎年1万人の来場者があります。



芸術鑑賞

音楽や演劇など一流の芸術家を招いて楽しめます。

**10月**

創立記念式典・追悼会

創立記念日の7日に、学園関係者で亡くなられた方を偲ぶ追悼の会を行います。



祖山参拝

京都東山の浄土宗總本山・知恩院にて、全校生徒でお詫びを行います。莊厳な雰囲気で圧倒されます。



奈良散策(2年生)

偉大な文化遺産を巡る旅。飛鳥や奈良公園などいくつかのコースから行き先を選びます。



運動会

騎馬戦やクラブ対抗リレー、登校競争など、全21種目の競技に汗を流します。

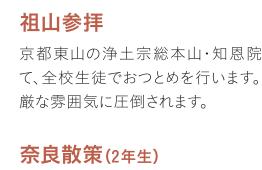


3年生優勝クラスと職員の綱引きは目玉競技のひとつ。手抜きのない真剣勝負に声援が飛びます。

11月

カルタ大会

クラス対抗戦や個人戦などで熱いバトルを開催。新春の柔道場に百人一首が書き渡ります。



明照祭

浄土宗の宗祖法然上人の御忌(ご命日)に当たる25日に開催されます。

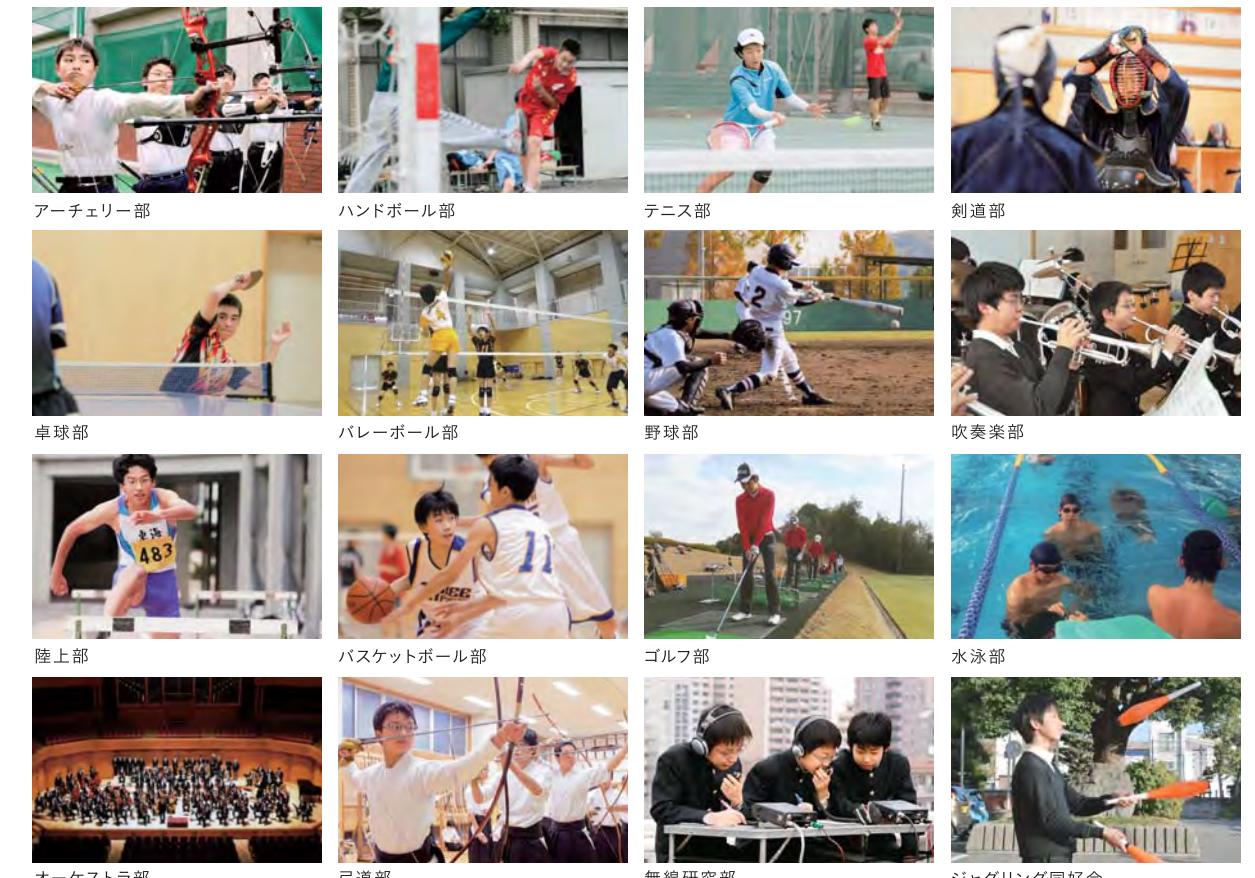


クラブ活動



かけがえのない仲間と 結ぶ絆。

仲間が一丸となって、心身ともにたくましい成長を遂げる。



クラブ一覧

- 【運動部】
- 野球部
- バスケットボール部
- バレーボール部
- サッカー部
- テニス部
- 卓球部
- 陸上競技部
- 柔道部
- 剣道部
- 弓道部
- ハンドボール部
- バドミントン部
- ワンダーフォーゲル部
- スキー部

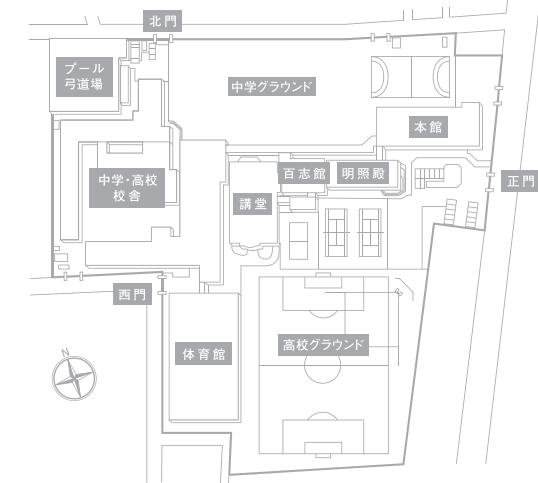
- 水泳部
- アーチェリー部
- ゴルフ部
- 写真部
- 放送部
- 合唱部
- 天文部
- 園芸部
- オーケストラ部
- 棋道部
- 演劇部
- 地学部
- 数学研究部
- 分論部
- ディベート部
- 美術部
- 軽音楽同好会
- ジャグリング同好会
- 書道部

- ESS
 - 郵便友の会部
 - 文芸部
 - 歴史研究部
 - 科学部
 - 無線研究部
 - 生物部
 - 宗教研究部
 - 地学部
 - 数学研究部
 - 分論部
 - ディベート部
 - 美術部
 - 軽音楽同好会
 - ジャグリング同好会
 - 交通研究同好会
- 高校からの部
 - 【運動部】
 - 山岳部
 - 馬術部
 - ラグビー部
 - アメリカンフットボール部
 - 自転車同好会
 - ボウリング同好会
 - 釣同好会
 - 【文化部】
 - 映画研究部
 - 新聞部
 - 社会研究部
 - 電波科学研究部
 - 図書部



充実した、 個性を育む場。

大規模な改築を経て施設が一新
充実の学び舎がここにある。



豊かな6年を過ごせる環境

昭和6年に完成し、国の登録有形文化財に指定されている講堂は、当時の外観のまま活用しています。さらに近年、生徒が過ごす時間をより良いものとするために、主要施設を大規模改築。中学校舎や体育館、プールといった、学生の学び舎や運動の場が新しくなり、生徒は活き活きと毎日を過ごしています。古きよきものと新しい施設がともに建つ、歴史ある本校ならではの温故知新的精神を肌で感じられる環境にあります。



規模と施設

中学 30学級 1,208名(平成27年度) 高校 33学級 1,293名(平成27年度)

施設 ()内数字は教室数

校舎等

明照殿 講堂 百志館(図書会館) 本館 中学校舎 高学校舎 クラブハウス
(中高各1棟)

特別教室

物理実験室(2) 化学実験室(2) 生物地学実験室 調理実習室 社会科教室
音楽教室(3) 美術室 技術教室 工作室 書道教室 視聴覚教室 英語
リスニングルーム 英語コミュニケーションルーム 英会話教室 情報教室(2)

体育施設

運動場(中高各1面) テニスコート5面 バレーコート ハンドボールコート

[体育館]
1F-柔道場・剣道場・卓球場 2F-トレーニングルーム
3F-アリーナ バスケットコート2面 バレーボール・バドミントン・ハンドボールにも使用
4F-ランニングトラック

[プール弓道場棟]
1F-弓道場・アーチェリー場 2F-プール25m(10コース)
屋外アーチェリー場 三好総合運動場(野球場・陸上競技場・テニスコート他)

その他
スタディーホール 多目的室 学習室 面談室(14) 進学資料室 補助教室(4)
学生ホール 生徒会室(2) 放送室(2) 相談室(4) 保健室 食堂 学園資料館
校内売店(書籍・スポーツ用品・文房具・制服等) 同窓会事務局

学びやに育まれ、 未来へ羽ばたく。

『先輩たちの背中が目標に』



平成24年度入学

佐藤 理太郎さん〈東海中学校3年〉

僕は数学研究部に所属し、ジュニア数学オリンピックや数学コンクールなどの競技数学イベントに積極的に参加しています。1年生の秋、数学コンクールの授賞式で、僕が小学生の頃から尊敬していた先輩方にお会いできたことは、今も忘れない印象的な出来事です。同じ学校の後輩として励ましていただき、勉強法のアドバイスまでいただきました。他の数学イベントでも東海生を見かけ、そのたびに数学好きの生徒が多いことを実感します。中には数学だけでなく、化学や生物などの他の科学オリンピックの出場者もいるそうです。東海中学校と高校の大きな魅力は、多くの生徒がそれぞれ自分の好きなことに邁進していることです。中学の頃からずっと努力を続け、高校になって夢を叶え始めている人も数多くいます。そんな先輩たちを目標に、その背中を追いかけていけることも、東海ならではの魅力のひとつだと思います。

〔東海中学校で努力していること〕

僕は数学研究部のほかに、入学前から興味のあったオーケストラ部も兼部しています。二つの部活、それに勉強。両立させるのはとても大変ですが、時間の使い方を工夫して頑張っています。先生や先輩たちも「兼部は無理」と言わずに見守ってくれるので、どちらも納得できる結果が出せるよう、努力していきたいと思います。

『努力することの意義を実感』



平成22年度入学

沢田 蒼梧さん〈東海高等学校2年〉

私にとって東海中学の一番の魅力は、『たくましき秀才であれ』と学業以外の物事にも熱心に取り組む時間や自立心を与えてくれたことです。小1からピアノを習う私は、数々の学生コンクールに参加してきましたが、それらの中でも最高峰といわれる『全日本学生音楽コンクール』への挑戦には二の足を踏んでいました。というのも、予選から本選にいたる3回の日程すべてが学校の試験と近いからです。しかし、真の『たくましき秀才』を目指して中学三年で初挑戦した私は、二次審査の前日まであった定期考査でそれまでの最高得点をマークし、コンクール本選では第2位に入賞することができました。たとえ好結果が出なくとも、努力したこと自体に意義があり、それは困難に立ち向かう自信となって未来の自分の糧となるでしょう。できない言い訳を探すのではなく、志すものに向かって真摯に努力する勇気と誇りを、東海中学で学んだ気がします。

〔高校卒業後の目標・将来の夢〕

私は将来、医師兼ピアニストを目指しています。入学前は「ピアノは趣味・特技の範疇に」と考えていました。しかし、総合授業やサタデープログラム等での職業観を養う機会を通して、自分にとってのピアノという存在を初めて真剣に考え、たとえ二足のわらじを履く困難な人生になろうとも「どちらの道も追求したい」と決心できました。

『人を知ることは自分を知ること』



平成24年度卒業

寺尾 匠史さん〈横浜国立大学 経営学部経営システム科学科〉

東海中学には、他の学校では出会えないような面白い先生や友人がたくさんいます。そんな人々と日々を過ごす中で、もっと人を知りたい、関わりたい、という想いが自分の中で強くなっていくを感じました。中学校の三年次に、自分の将来像を言葉で描き出す「卒業レポート」という課題があります。当時、その内容を決めかねていた僕に、担任の先生はマスコミを薦めてくださいました。とあるアナウンサーの方にインタビューして知った、決して華やかなだけではないマスコミの世界。知れば知るほど憧れは深まり、進路を考える指標となり、何より人の繋がりの大切さを学びました。そして、その繋がりを育む一環として、個性豊かな仲間たちと巡り会うことのできる東海中学は、自分の良さを発見・発展させていく上で最適な環境だと思います。ここで培った人間関係や様々な経験は、今後大学生活を送る上でも、大きな糧となっていくでしょう。

〔中学時代一生懸命取り組んだこと〕

僕はテニス部でキャプテンを務め、7年ぶりの全国大会出場を果たしました。しかし、僕らの代は、個々の能力が決して高かったわけではありません。結果を出せたのは、部員の結束力の強さと先生方の熱心な指導があってこそです。もちろん東海中学校は、他の部活動も素晴らしいものです。入学した際には、ぜひ部活動に入ることをお勧めします。

『切磋琢磨できる友達がいる』



平成17年度卒業

坂野 一郎さん〈一般社団法人共同通信社〉

東海中学の魅力は、何と言ても頭の良し悪しとは関係ない「なんかスゴイ」生徒が揃っていることだと思います。基本は放任主義で、何をやってもいい。だからこそ、どんな個性でも伸ばすことができる。野球でもサッカーでも、将棋でもパソコンでも、あるいはカードゲームもいい。ひとつの分野ではまったく歯が立たない「スゴイ奴」がたくさんいたんです。そんな刺激的な級友たちに囲まれていると、「自分も何か負けない分野を作ろう」という気になります。その結果として僕は「写真では負けたくない」と思うようになりました。大学では写真の研究に打ち込み、就職にあたっては写真が撮れて文章も書ける「記者」に憧れを抱くようになり、そして現在に至っています。スゴイ奴らと過ごす日々は、劣等感を覚えて苦しく思うことも少なくありませんでしたが、今の自分を形作る上で大きな財産になったことは間違ひありません。

〔中学時代一生懸命取り組んだこと〕

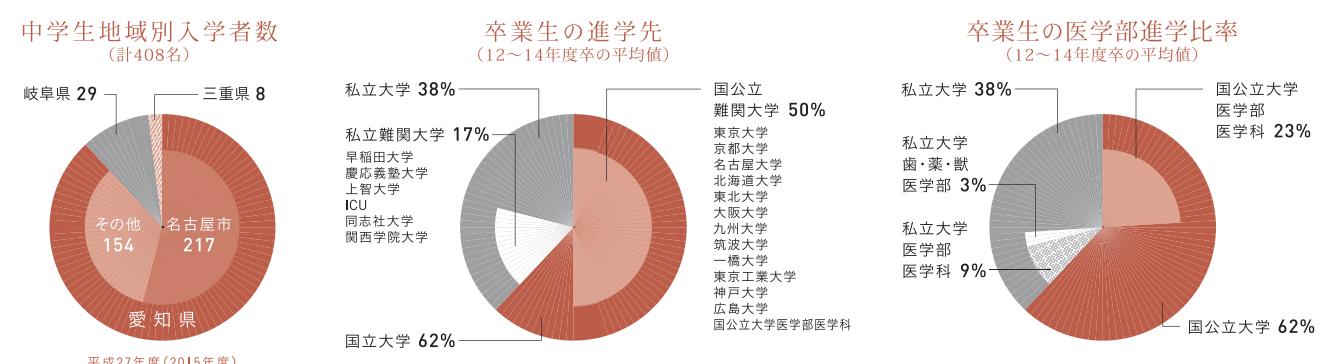
当時は野球に打ち込んでいて、毎日練習に参加していました。バッティングが苦手だったので、足がそこそく速く、かつパンツが得意だったので、「常にセーフティ・パンツをねらう」という小ズルい野球をしていましたね(笑)。ただ、いま思えば中学生なりに、自分だけの活路を見出すことに必死だったんだと思います。

夢を叶えた先輩たちの軌跡。

各界で活躍する人材を数多く輩出する、全国トップレベルの実績。

社会で輝く、多数の卒業生たち

東京大学や京都大学をはじめ、慶應義塾大学や早稲田大学など、国公立・私立ともに全国トップクラスの難関大学へ、毎年多くの先輩たちが合格しています。なかでも医学部医学科への進学率は、全国的にみても他校に比べて高い実績を誇っています。また、卒業生の多くが進むべき道へ輝かしい飛躍を遂げ、日本が誇るスペシャリストとして活躍しています。東海中学校の学習環境の充実度と、人間性豊かな人材を育てる教育力に対して、社会からも高い評価を得ています。生徒が夢をみつけ、東海中学という場を生かし、その先に進むために、一人ひとりに合わせたサポート体制を整え、夢の実現を支援しています。



東海高等学校大学進学実績

平成27年度(2015年度)主な大学の合格者数
()は医学部医学科合格者数

大学名	平成27年度	過去5年間
東京大学	27(2)	131(9)
京都大学	42(2)	148(10)
名古屋大学	61(26)	254(121)
北海道大学	9(2)	41(10)
東北大	3(1)	16(10)
一橋大学	8	31
東京工業大学	4	23
名古屋市立大学	24(14)	120(81)
岐阜大学	18(13)	84(55)
三重大学	3(2)	32(19)
大阪大学	11(2)	55(4)
国公立大学合計(大学校含まない)	304(96)	1434(554)
慶應義塾大学	76(1)	323(8)
早稲田大学	89	413
私立大学医学部医学科合計	(80)	(396)

平成27年度(2015年度)の左記以外の主な大学合格者
()は医学部医学科合格者数

国立大学
東北大学3(I) 秋田大学3(2) 筑波大学1(I) 千葉大学1 東京医科歯科大学1(I) 横浜国立大学7 新潟大学2(I) 富山大学1 金沢大学4(3) 福井大学3(2) 山梨大学2(2) 信州大学7(3) 静岡大学4 浜松医科大学1(I) 名古屋工業大学10 神戸大学8(3) 広島大学2(1) 山口大学1(I) 香川大学2(I) 高知大学5(5) 九州大学1(I) 琉球大学2(I)

公立大学
横浜市立大学1(I) 新潟県立大学1 福井県立大学1 静岡県立大学1 岐阜薬科大学3 京都府立医科大学1(I) 大阪府立大学5

大学校
防衛大学校2 防衛医科大学校9(9)

私立大学
青山学院大学8 順天堂大学8(7) 上智大学8 中央大学40 東京慈恵会医科大学7(7) 東京理科大学91 法政大学8 明治大学57 立教大学3 南山大学23 愛知医科大学13(13) 廣田保健衛生大学23(22) 愛知県立大学21 同志社大学61 立命館大学110 大阪医科大学1(I) 関西医科大学5(5) 関西学院大学8 関西大学3 など

全国屈指の教育環境が生んだ人材

4万人を超える同窓生は様々な分野で活躍しています。また、東海生は卒業後も活発な同窓会によって深い心の絆で結ばれています。政界における第76代内閣総理大臣の海部俊樹氏、愛知県知事の神田真秋氏、医学界の斎藤英彦氏、実業界の安井義博氏、加藤武氏、法曹界の高須宏夫氏、文化勲章受章哲学者の梅原猛氏、ニュースキャスターの木村太郎氏(高校から入学)、フィールズ賞受賞数学者の森重文氏、NHKアンサーの三宅民夫氏、直木賞作家の大沢在昌氏など、枚挙に暇がありません。



アクセスマップ

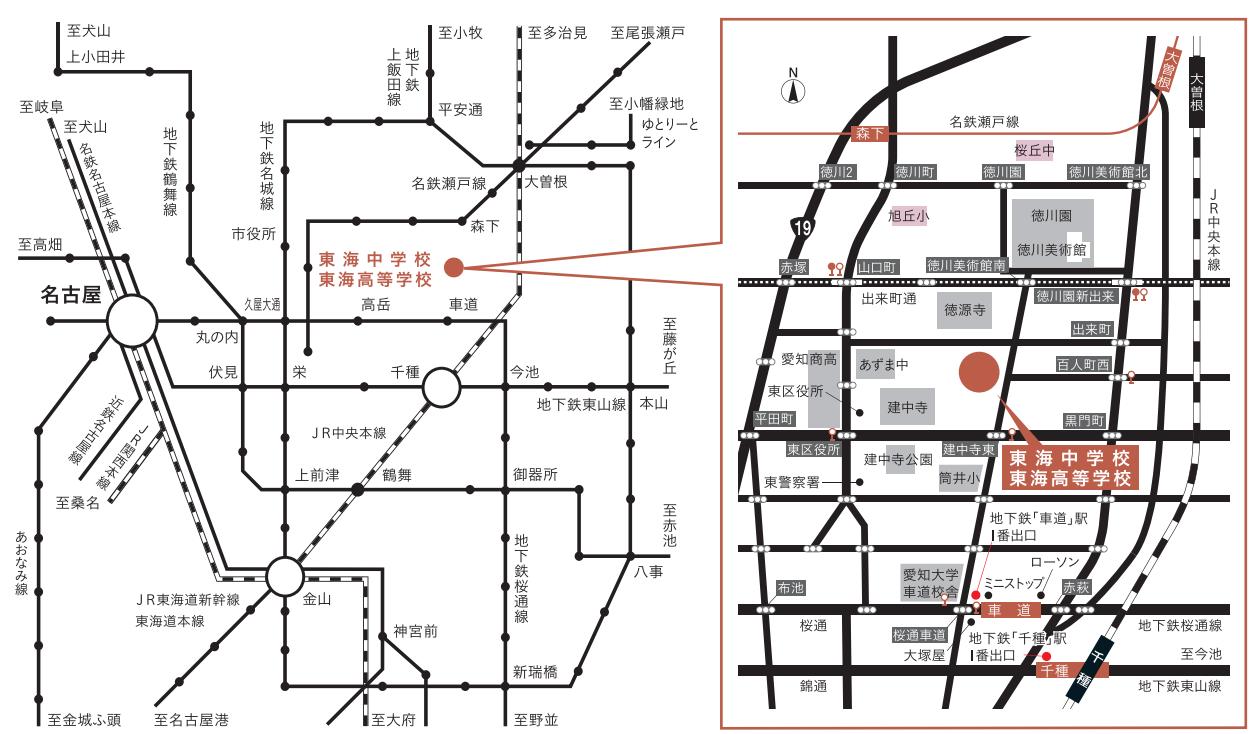
東海中学校は名古屋の中心部にあり、

地下鉄桜通線や東山線、名鉄バスや基幹バスなど

通学に便利な場所に立地しています。

学校周辺には、建中寺、徳源寺や徳川園など寺院や庭園が点在し、

静かで落ち着いた場所で自分と向き合える環境が整っています。



電車

■地下鉄桜通線：車道駅下車1番出口[徒歩10分]
地下鉄東山線：千種駅下車1番出口[徒歩15分]
JR中央本線：千種駅下車[徒歩15分]／大曾根駅下車[徒歩17分]

バス

■基幹バス：徳川園新出来下車[徒歩4分]／山口町下車[徒歩7分]
■市バス：桜通車道下車[徒歩10分]／東区役所下車[徒歩5分]
建中寺東下車[徒歩4分]／百人町下車[徒歩3分]
■名鉄バス：森下駅下車[徒歩12分]
■名鉄瀬戸線：森下駅下車[徒歩4分]／山口町下車[徒歩7分]

東海中学校 〒461-0003 名古屋市東区筒井一丁目2-35 TEL(052)936-5114・5115 FAX(052)936-5143
東海高等学校 〒461-0003 名古屋市東区筒井一丁目2-35 TEL(052)936-5112・5113
東海学園高等学校 〒468-0014 名古屋市天白区中平二丁目901 TEL(052)801-6222
東海学園大学 ●名古屋キャンパス／人文学部・教育学部・健康栄養学部 〒468-8514 名古屋市天白区中平二丁目901 TEL(052)801-1201
●三好キャンパス／経営学部・スポーツ健康科学部 〒470-0207 みよし市福谷町西ノ洞21-233 TEL(0561)36-5555